

県民の森の平成20年度管理状況

施設所管課	観光交流局 交流政策課
指定管理者	県民の森地域振興会 会長 空 喜代士
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 <ul style="list-style-type: none"> 接客マナーについて職員間で意見交換を行い、接遇の向上に努めた。 利用者の苦情・意見の把握・対応 <ul style="list-style-type: none"> 川遊びされる利用者のために溪流の倒木を除去した
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> 体験教室等の開催(参加人数359人) 施設の情報提供、広報、広告 <ul style="list-style-type: none"> パンフレット発送及び配布(2,000部) ケーブルテレビにてイベント放映 新聞、広報誌、県・市のホームページに掲載 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 <ul style="list-style-type: none"> 山中温泉観光協会(観光ルートへの取り組み) 遠足での利用など児童館・保育所等との連携 加賀市内児童館と連携し、植樹・炭焼き体験を実施
使用の許可に関する業務	(2) のとおり
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃 <ul style="list-style-type: none"> 園内(毎日)各施設全般(使用前・使用后) パノラマコース等の登山道の点検 園内危険倒木等の撤去 保守点検 <ul style="list-style-type: none"> 飲料水、浄化槽については管理委託し、施設・道路・防火水槽については職員が随時保守管理している 草刈機、チェーンソー、公衆電話の修理 警備 <ul style="list-style-type: none"> 開園期間中は毎日見回り 日帰り客が遅くなる場合は残って対応 小規模修繕(実施内容を簡潔に記載) <ul style="list-style-type: none"> 炊事場炉割れ、便所水回り、屋根雨漏り修理

(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・ 消防避難訓練を実施 ・ ログハウス、管理棟に緊急時の連絡先を明示 個人情報の管理状況 ・ 業務仕様書に基づき利用者名簿を適正に保管
------------------	--

(2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合) 利用人数、稼働率などの数値目標)

指 標	H19年度 (参考)	H20年度	前年度比	増減理由
入園者数(人)	30,513	28,489	93%	

使用許可等の状況

施設名	許可件数	不許可件数	不許可理由

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

施設名	収入額(円)	減免額(円)	減免理由
テントサイト	100,040		
貸出テント	53,070		
バンガロー	95,730		
ケビン	614,390		
ログハウス	960,400		
バーベキュー舎	121,500		
計	1,945,130		

(4) 収支決算

(千円)

収 入		支 出	
管理料	20,906	人件費	18,046
利用料収入	1,945	光熱水費	858
その他	18	修繕費	842
		委託料	588
		消耗品費	491
		その他	2,029
合計	22,869	合計	22,854
収支差額	15		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果(冬季のため未実施)

項目	回答				
	良い	概ね良い	普通	やや悪い	悪い
利用者サービス					
施設の維持管理					-

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
H20.6月	バーベキュー舎屋根の雨漏り	速やかに修理対応
H20.10月	芝生炊事場付近の地面が滑りやすい	山砂を敷き詰めて対応

事故、故障等

年月	内容	対応

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	・地元保育所や児童館などと連携し、昔ながらの山村生活体験や溪流遊びを企画するなど、自主事業を積極的に展開している。 ・事務棟内に来園者用の休憩コーナーを設置するなど、サービス向上を心がけた施設管理が行われている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・施設内はもとより、園内の草刈りや林道管理が行き届いており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・類似施設への視察研修など、業務に関する職員の資質向上に努めている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・個人情報に関する指針を定め、職員に周知徹底をはかっており、適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	・山間部の地理的特徴を活かし、施設の設置目的にあった運営がなされている。

評価基準

- A(優):仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良):仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可):仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可):仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優):適正であり、優れた実績をあげている
- B(良):適正である
- C(可):概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可):改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

--